

産業医科大学病院薬剤部

新人薬剤師の教育研修プログラム

2025年2月12日作成

新人薬剤師の教育研修プログラムは産業医科大学病院薬剤部のホームページで公開

<https://www.uoeh-u.ac.jp/kouza/yakuzai/index.html>

1. 新人薬剤師の教育研修プログラムの目的

新人薬剤師の教育研修プログラムは、産業医科大学病院における薬剤師業務において必要とされる実践力を身につけ、患者にとって最良の薬物療法を提供することができる薬剤師を育成し、その後のプロフェッショナルリズムやキャリア形成につなげることを目的とする。

2. 新人薬剤師の教育研修プログラムの理念・基本方針

(1) 研修理念

医療現場で必要とされる実践力を身につけ、患者にとって最良の薬物療法を提供することができる薬剤師を育成する。

(2) 基本方針

- ・ 産業医科大学病院で継続的に勤務することを前提に、短期的な教育研修ではなく、中期的な計画で確実に実践力を身につける。
- ・ 医療現場で多様な関係者と協働して実践的に活動するための社会人基礎力を高める。
- ・ 特定機能病院において対応できる知識や技能を身につける。

3. 新人薬剤師の教育研修プログラムの対象者

産業医科大学病院の職員として新規採用した免許取得直後の薬剤師を対象とする。新規採用した薬剤師が免許取得直後ではない場合は、薬剤師としての経験年数や職歴等を考慮して適応する。なお、産業医科大学病院の新規採用の職員は、大学のホームページ等で公募し、適性検査、専門試験、面接に基づき選考される。

4. 新人薬剤師の教育研修プログラムの管理

(1) 委員会

薬剤師臨床研修管理委員会において、新人薬剤師の教育研修に係るプログラムの策定および教育研修の実施等について審議する。

(2) 教育研修プログラムの評価と改訂

教育研修プログラムの内容、実施状況等に関して定期的に自己評価し、教育研修プログラムの見直しが必要な場合は薬剤師臨床研修管理委員会で審議した上で改訂する。また、必要に応じて、一般社団法人日本私立医科大学協会薬剤部長会議において、教育研修プログラムの内容、実施状況等に関する外部評価を受ける。

5. 新人薬剤師の教育研修プログラムの教育研修責任者、教育研修管理者、教育研修指導者

(1) 教育研修責任者

- ・ 教育研修責任者は、新人薬剤師の教育研修プログラムを統括する。薬剤師臨床研修管理委員会への報告および教育研修プログラムの改訂等について審議の依頼を行う。また、定期的に新人薬剤師と個別の面談を実施し、教育研修プログラムの過程を把握すると共に、個々のキャリア形成を促す。
- ・ 教育研修責任者に薬剤部長をあてる。

(2) 教育研修管理者

- ・ 教育研修管理者は、新人薬剤師の教育研修プログラムが円滑に実施されるよう管理し、総合的に支援す

る。また、新人薬剤師、教育研修指導者および教育研修に係わる者の精神的負担や体調管理に配慮し、必要に応じ助言やフィードバックを行う。

- ・ 教育研修管理者に薬剤部副部長をあてる。

(3) 教育研修指導者

- ・ 教育研修指導者は、自室の教育研修の実施状況を把握し、指導内容および評価の結果を新人薬剤師へフィードバックする。
- ・ 業務内容の変化等に伴い教育研修プログラムの見直しが必要な場合は、教育研修責任者へ提案する。新人薬剤師の教育研修の継続が困難となった場合は、対応を検討した上で教育研修責任者へ報告する。
- ・ 教育研修指導者に薬剤部科長・主任をあてる。

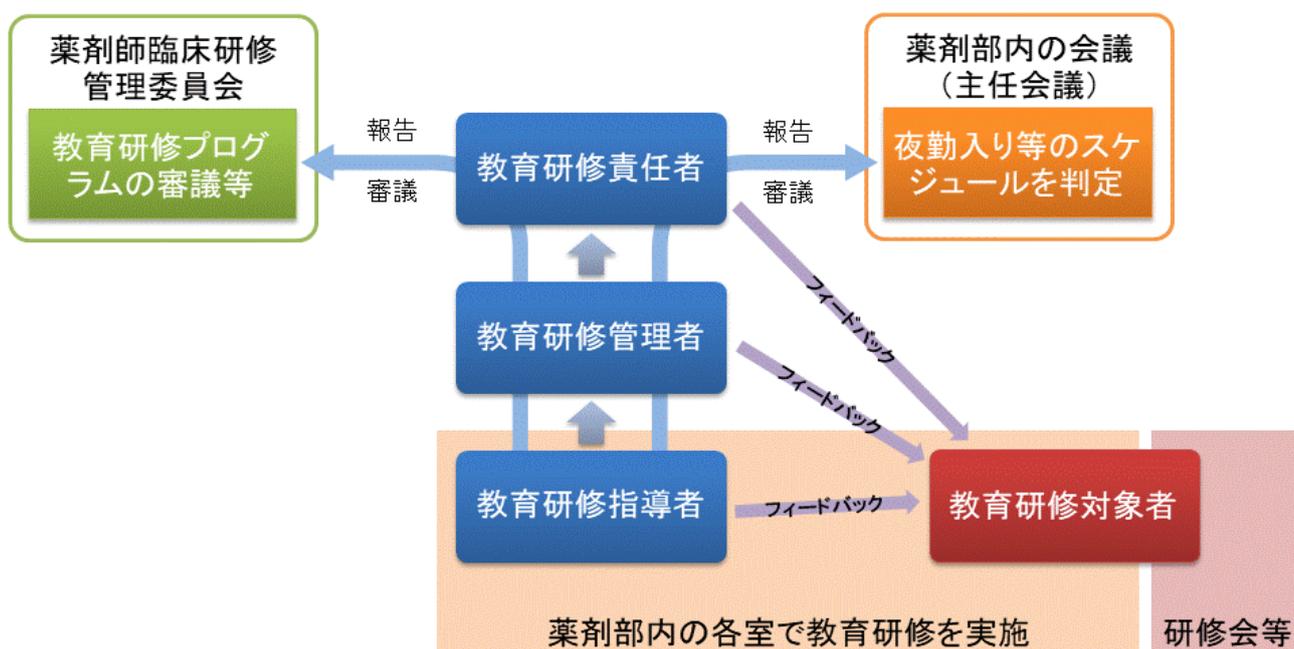


図1 新人薬剤師の教育研修プログラムの体制

6. 教育研修プログラムのスケジュール

(1) 教育研修プログラムの期間

教育研修プログラムの期間は、原則3年間とする。なお、免許取得直後でない新人薬剤師の場合は、薬剤師としての経験年数や職歴等を考慮し、判定時期を早める。

(2) 夜勤入り等の勤務スケジュールの判定

教育研修プログラム開始4ヵ月目に調剤室と注射室の教育研修プログラムの進捗状況から、休日日勤・夜勤の勤務に入るスケジュールを薬剤部内の会議（主任会議）で判定する。なお、免許取得直後でない新人薬剤師の場合は、薬剤師としての経験年数や職歴等を考慮し、判定時期を早める。

(3) 教育研修プログラムの修了の判定

教育研修プログラム開始36ヵ月目に教育研修プログラムがすべて完了し、到達目標が達成できたことを確認の上、教育研修プログラムの修了を判定する。なお、免許取得直後でない新人薬剤師の場合は、薬剤師としての経験年数や職歴等を考慮し、修了時期を早める。

1年目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
教育研修	調剤業務・注射調剤業務											
研修会等	入薬特オリエンテーション ※研修会 ※薬剤師見面会	各部署での医薬品の管理 ※研修会	手術室の感染・薬害等の管理 ※研修会	夜勤補給の研修 ※研修会 ※夜勤入り判定 ※薬剤師見面会	休日の平常日直の研修 ※研修会	夜勤補給入り ※研修会 ※研修会	休日の平常日直入り ※研修会	夜勤入り（休日） ※研修会	夜勤入り（平日） ※研修会	※研修会	※研修会	※研修会
2年目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
教育研修	抗がん剤業務		病棟薬剤業務									
研修会等	抗がん剤調製レジメン管理 TPM調製 ※研修会	抗がん剤調製レジメン管理 TPM調製 外注化学調製 ※研修会	※研修会	※研修会	※研修会	※研修会	※研修会	※研修会	※研修会	※研修会	※研修会	※研修会
3年目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
教育研修	病棟薬剤業務											
研修会等		※研修会	※研修会	※研修会	※研修会	※研修会	※研修会	※研修会	※研修会	※研修会	※研修会	※研修会 ※修了判定 ※薬剤師見面会

原則、1年目は調剤室/注射室に配属。2年目に2ヵ月間試験・製剤室(抗がん剤調製・レジメン管理等)に配属。2年目または3年目に病棟薬剤業務室に配属。

図2 スケジュールの例

7. 新人薬剤師への教育研修内容と到達目標

薬剤部の各室で以下の教育研修を実施し、各室で作成された新人薬剤師の教育チェックリスト（別紙）を用いて指導および評価する。各室の教育研修指導者は、教育研修の指導内容および評価の結果を新人薬剤師へフィードバックし、到達目標の達成を判定する。

項目	内容と到達目標	担当
医療機関に勤務する上で基礎となるもの	<ul style="list-style-type: none"> ・ プロフェッショナリズム ・ 医療倫理 ・ コミュニケーション ・ 患者接遇、マナー ・ 個人情報保護 ・ 医療安全 ・ 感染対策 ・ 防災・災害対策 	薬剤部長
	到達目標：医療人に相応しい倫理観と基礎的な知識があり、日常業務を適切に遂行できる。	
調剤業務	<ul style="list-style-type: none"> ・ 処方内容の確認・分析（薬剤服用歴の確認も含む） ・ 処方監査及び疑義照会 ・ 内服・外用の計数調剤 ・ 計量調剤（散剤、水剤、軟膏剤等） ・ 麻薬、毒薬、向精神薬等の調剤及び管理 ・ 医薬品の管理 ・ 調剤機器の取り扱い 	調剤室
	到達目標：調剤業務を単独で確実に実施できる。	
注射調製業務	<ul style="list-style-type: none"> ・ 注射処方内容の確認・分析（薬剤服用歴の確認も含む） ・ 処方監査及び疑義照会 ・ 注射剤の調剤、払出し ・ 麻薬、毒薬、向精神薬等の注射調剤及び管理 ・ 医薬品の管理 ・ 注射調剤機器の取り扱い 	注射室
	到達目標：注射調剤業務を単独で確実に実施できる。	
抗がん剤の無菌調製とレジメン管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 抗悪性腫瘍薬の注射剤の無菌調製 ・ レジメン管理 ・ 外来化学療法室での業務（連携充実加算業務を含む） 	試験・製剤室
	到達目標：抗がん剤調製業務とレジメン管理を単独で確実に実施できる。	
中心静脈栄養用輸液の無菌調製	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中心静脈栄養用輸液の無菌調製 	試験・製剤室
	到達目標：中心静脈栄養用輸液調製業務を単独で確実に実施できる。	
薬物血中濃度モニタリング	<ul style="list-style-type: none"> ・ 薬物血中濃度モニタリングに基づく投与設計及び管理 	試験・製剤室 AST 担当者
	到達目標：薬物血中濃度モニタリングに基づく投与設計を必要に応じ指導の下で実施できる。	
院内製剤	<ul style="list-style-type: none"> ・ 院内製剤の調製 	試験・製剤室
	到達目標：院内製剤の調製を必要に応じ指導の下で実施できる。	
病棟薬剤業務／薬剤管理指導業務	<ul style="list-style-type: none"> ・ 患者情報及び持参薬の確認及び評価（薬局との連携も含む）並びに処方提案 ・ 適正な薬物治療に関する薬剤調整（ポリファーマシー対策を含む）業務 	病棟薬剤業務室

	<ul style="list-style-type: none"> ・ ハイリスク薬を含む薬物治療に係る患者への説明及び指導 ・ 副作用の重篤化回避、未然回避、薬物治療効果の向上のプレアボイド ・ 退院、転院時の服薬の説明および指導 ・ 地域連携業務（施設間情報連携を含む） ・ 周術期における薬剤管理業務 ・ 集中治療室における薬学的管理 ・ 患者や各職種等からの相談応需業務 	
	到達目標：病棟薬剤業務および薬剤管理指導業務を単独で確実に実施できる。	
チーム医療	<ul style="list-style-type: none"> ・ 緩和医療チームの業務 ・ 感染対策の業務 ・ HIV 医療チームの業務 ・ NST の業務 	チーム医療担当者
	到達目標：チーム医療の必要性と薬剤師の役割について理解できる。	
手術室等における医薬品の管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 手術室における麻薬・毒薬等の管理 ・ 各部署における医薬品の管理 	薬務・麻薬室
	到達目標：手術室における麻薬・毒薬等の管理および各部署における医薬品の管理を単独で確実に実施できる。	
医薬品情報管理業務	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医薬品情報の収集、薬学的評価および活用 ・ 他職種からの照会対応 	医薬品情報管理室
	到達目標：医薬品情報管理業務について理解できる。	
治験・臨床研究業務	<ul style="list-style-type: none"> ・ 治験薬管理業務 ・ 円滑な業務実施のための治験責任医師、CRC 等との連携 	臨床研究推進センター薬剤師（依頼）
	到達目標：治験薬管理業務について理解できる。	
保険薬局業務	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保険薬局の業務全般（医療機関との連携、在宅医療を含む） 	保険薬局薬剤師（依頼）
	到達目標：保険薬局の業務について理解できる。	

研修会等：

- ・ 採用時医療安全研修（院内研修会、入職初日1回のみ、必須）
- ・ 医療安全職員全体研修会（院内研修会、年3回・毎年、必須）
- ・ 保険診療に関する講習会（院内研修会、年2回・毎年、必須）
- ・ 病院個人情報保護研修会（院内研修会、年1回・毎年、必須）
- ・ 医療情報セキュリティ講習（院内研修会、年1回・毎年、必須）
- ・ 研究費不正使用防止及び研究不正行為防止に関する講習会（院内研修会、年1回・毎年、必須）
- ・ 新採用薬剤師教育研修会（福岡県病院薬剤師会主催の外部研修会、年1回・初年度のみ、必須）
- ・ 医薬品安全セミナー（院内研修会、年5回・毎年、任意）
- ・ 人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理講習会（院内研修会、年2回・毎年、任意）
- ・ 臨床倫理講習会（院内研修会、年1回・毎年、任意）
- ・ 褥瘡対策に関する講習会（院内研修会、年1回・毎年、任意）
- ・ 新薬ヒアリング（薬剤部内研修会、週1回程度、任意）

8. 教育研修プログラムの実施記録の保管

教育研修プログラムで使用した新人薬剤師の教育チェックリスト、薬剤部長面談記録、夜勤入り等の勤務スケジュール判定、教育研修プログラム修了判定等の実施記録を、教育研修プログラム修了後から5年間保管する。

薬剤部長面談記録

新人薬剤師名 : _____

教育研修プログラム開始日 : _____年____月____日

面談日 : _____年____月____日

面談記録 :

--

夜勤入り等の勤務スケジュール判定

新人薬剤師名： _____

勤務スケジュール判定日： _____ 年 _____ 月 _____ 日

勤務スケジュール：

20XX年4月	入職
20XX年7月	夜勤補助の研修
20XX年8月	休日の半直日直の研修
20XX年9月	夜勤補助入り
20XX年10月	休日の半直日直入り
20XX年11月	夜勤入り（休日）
20XX年12月	夜勤入り（平日）

コメント等：

--

教育研修プログラム修了判定

新人薬剤師名： _____

教育研修プログラム開始日： _____ 年 _____ 月 _____ 日

教育研修項目の達成状況：

項目	到達目標	達成（年月日）
医療機関に勤務する上で基礎となるもの	医療人に相応しい倫理観と基礎的な知識があり、日常業務を適切に遂行できる。	<input type="checkbox"/> (/ /)
調剤業務	調剤業務を単独で確実に実施できる。	<input type="checkbox"/> (/ /)
注射調製業務	注射調剤業務を単独で確実に実施できる。	<input type="checkbox"/> (/ /)
抗がん剤の無菌調製とレジメン管理	抗がん剤調製業務とレジメン管理を単独で確実に実施できる。	<input type="checkbox"/> (/ /)
中心静脈栄養用輸液の無菌調製	中心静脈栄養用輸液調製業務を単独で確実に実施できる。	<input type="checkbox"/> (/ /)
薬物血中濃度モニタリング	薬物血中濃度モニタリングに基づく投与設計を必要に応じ指導の下で実施できる。	<input type="checkbox"/> (/ /)
院内製剤	院内製剤の調製を必要に応じ指導の下で実施できる。	<input type="checkbox"/> (/ /)
病棟薬剤業務／薬剤管理指導業務	病棟薬剤業務および薬剤管理指導業務を単独で確実に実施できる。	<input type="checkbox"/> (/ /)
チーム医療	チーム医療の必要性和薬剤師の役割について理解できる。	<input type="checkbox"/> (/ /)
手術室等における医薬品の管理	手術室における麻薬・毒薬等の管理および各部署における医薬品の管理を単独で確実に実施できる。	<input type="checkbox"/> (/ /)
医薬品情報管理業務	医薬品情報管理業務について理解できる。	<input type="checkbox"/> (/ /)
治験・臨床研究業務	治験薬管理業務について理解できる。	<input type="checkbox"/> (/ /)
保険薬局業務	保険薬局の業務について理解できる。	<input type="checkbox"/> (/ /)

年 月 日

新人薬剤師の教育研修プログラムが修了したと判定する。

教育研修プログラム責任者： _____